

大物 ゲット



長島の夏の恒例イベント「ブリのつかみどり大会」が7月27日、あづま海水浴場で開催されました。

大会には、事前申し込みと当日の飛び入り参加を含め202人が参加。開会式で、川添健町長が「長島はブリの養殖が盛ん。つかみどりを楽しんだ後は、美味しく堪能して」と長島の特産品『鱈王』を紹介しました。

つかみどり開始の号令とともに、子どもたちが元気に海に入りました。網の中に放流されたブリは素早く泳ぎ、子どもたちの手をすり抜けていきました。

大きいものでは6kgを超える大物のブリに驚いて泣き叫んでしまう子や、一度はつかまえたものの手を滑らし、砂浜で暴れまわるブリに悪戦苦闘する子どもさままででした。

保護者らは、わが子の奮闘ぶりをカメラに収めながら、大きな声援を送っていました。

つかまえたブリは東町漁業協同組合青壮年部員らの手によって、素早く血抜きし箱詰めされました。

鹿児島市から参加した小学2年生の小平優花さんは「ブリは大きくてつかまえるのが大変だったけど楽しかった。夏休みの思い出になった。来年も参加したい」と笑顔をみせました。



↑号令にあわせ、一斉に海に入る子どもたち